

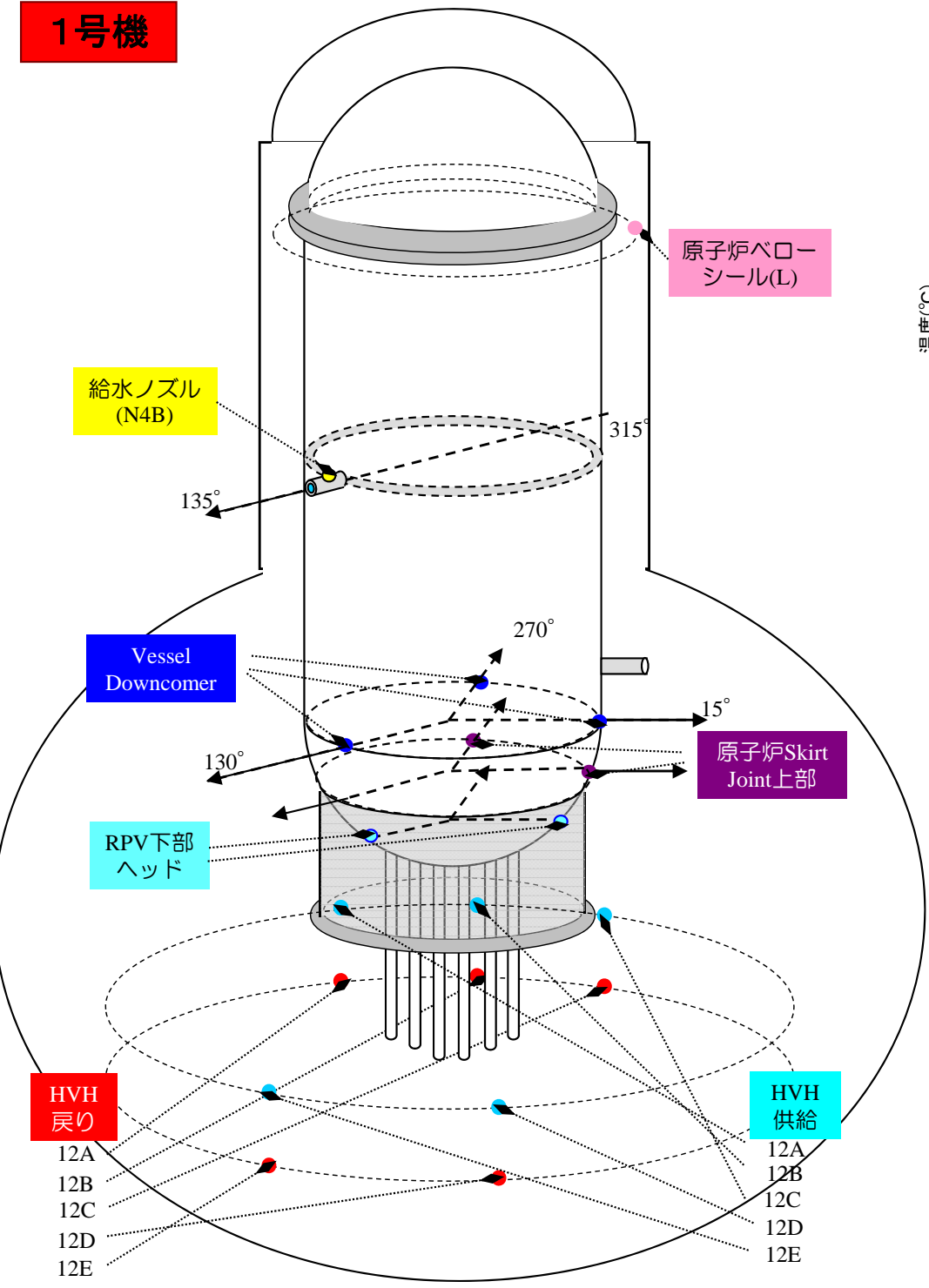
福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	10月29日	11月26日	10月29日	11月26日	10月29日	11月26日	10月29日	11月26日
原子炉注水状況	給水系：2.4m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (10/29 11:00 現在)	給水系：2.5m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (11/26 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (10/29 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (11/26 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (10/29 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (11/26 11:00 現在)		
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：25.8℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：25.7℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：25.7℃ (10/29 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：22.5℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：22.4℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：22.4℃ (11/26 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：32.6℃ (10/29 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：29.0℃ (11/26 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：31.1℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：31.0℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：29.1℃ (10/29 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：27.5℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：27.6℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：25.5℃ (11/26 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：26.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：25.6℃ (10/29 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：22.8℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：22.4℃ (11/26 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：34.5℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：32.7℃ (10/29 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：30.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：29.0℃ (11/26 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：30.7℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：28.8℃ (10/29 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：27.4℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：25.2℃ (11/26 11:00 現在)	-	-
原子炉格納容器 圧力	3.3kPa g (10/29 11:00 現在)	3.6kPa g (11/26 11:00 現在)	6.23kPa g (10/29 11:00 現在)	4.92kPa g (11/26 11:00 現在)	0.22kPa g (10/29 11:00 現在)	0.22kPa g (11/26 11:00 現在)		
窒素封入流量 ※1	RPV：27.79Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/29 11:00 現在)	RPV：28.19Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/26 11:00 現在)	RPV：15.42Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/29 11:00 現在)	RPV：15.46Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/26 11:00 現在)	RPV：16.42Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (10/29 11:00 現在)	RPV：16.45Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (11/26 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：-vol% ※4 B系：0.03vol% (10/29 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.02vol% (11/26 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.06vol% (10/29 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.06vol% (11/26 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.06vol% (10/29 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.06vol% (11/26 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：1.46E-03Bq/cm ³ B系：1.08E-03Bq/cm ³ (10/29 11:00 現在)	A系：6.77E-04Bq/cm ³ B系：1.05E-03Bq/cm ³ (11/26 11:00 現在)	A系：ND(2.2E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) (10/29 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (11/26 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.1E-01Bq/cm ³ 以下) (10/29 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (11/26 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	21.5℃ (10/29 11:00 現在)	17.0℃ ※5 (11/26 5:00 現在)	18.8℃ (10/29 11:00 現在)	16.7℃ (11/26 11:00 現在)	17.0℃ (10/29 11:00 現在)	14.4℃ (11/26 11:00 現在)	17.0℃ (10/29 11:00 現在)	12.8℃ (11/26 11:00 現在)
FPC 代替冷却 水位	3.15m (10/29 11:00 現在)	3.67m ※5 (11/26 5:00 現在)	3.62m (10/29 11:00 現在)	4.09m (11/26 11:00 現在)	3.45m (10/29 11:00 現在)	4.64m (11/26 11:00 現在)	22.52×100mm (10/29 11:00 現在)	21.49×100mm (11/26 11:00 現在)

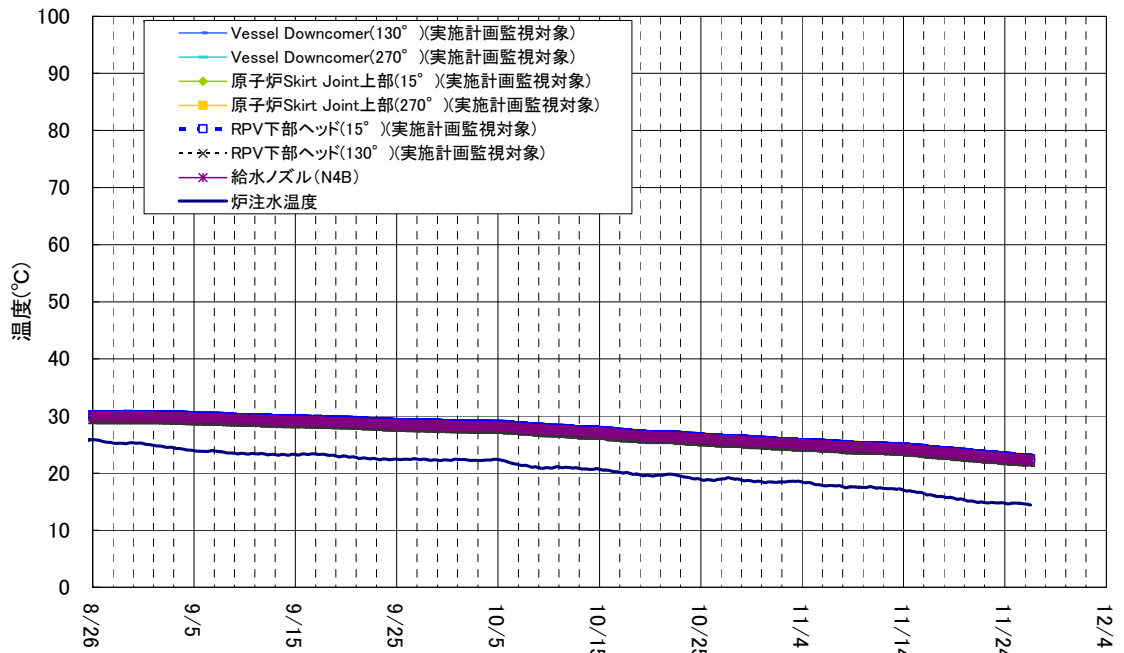
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 指示不良に伴いデータ欠測
 ※5: 1号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中の為、1号機使用済燃料プール水温度とFPCスキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.061℃/h程度と評価。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約45℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

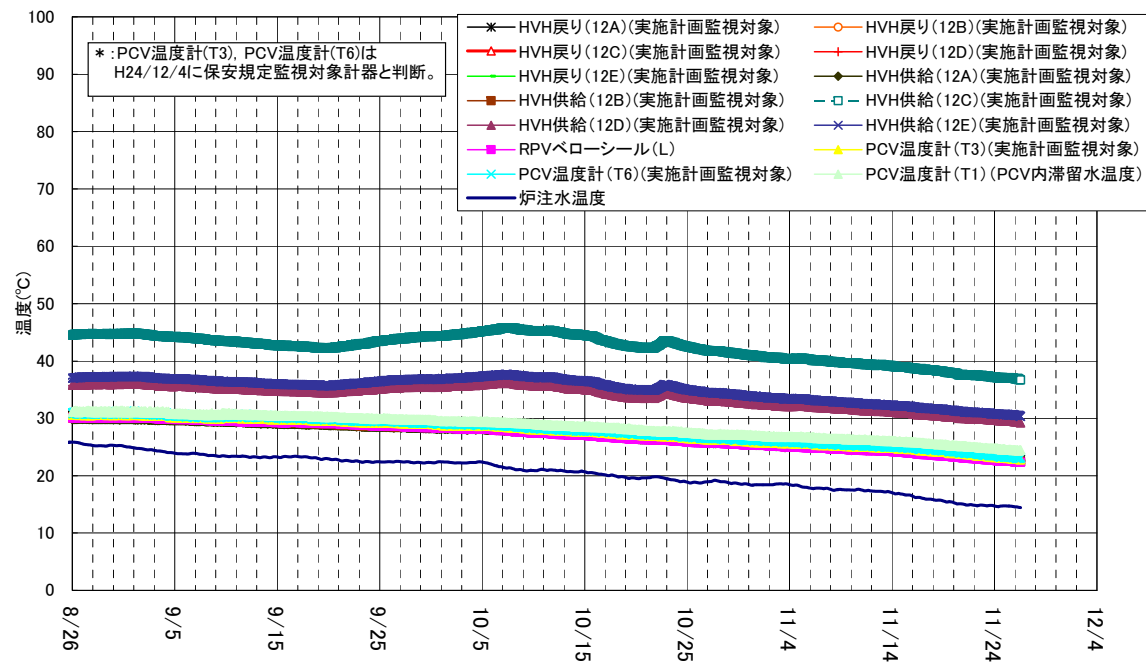
1号機



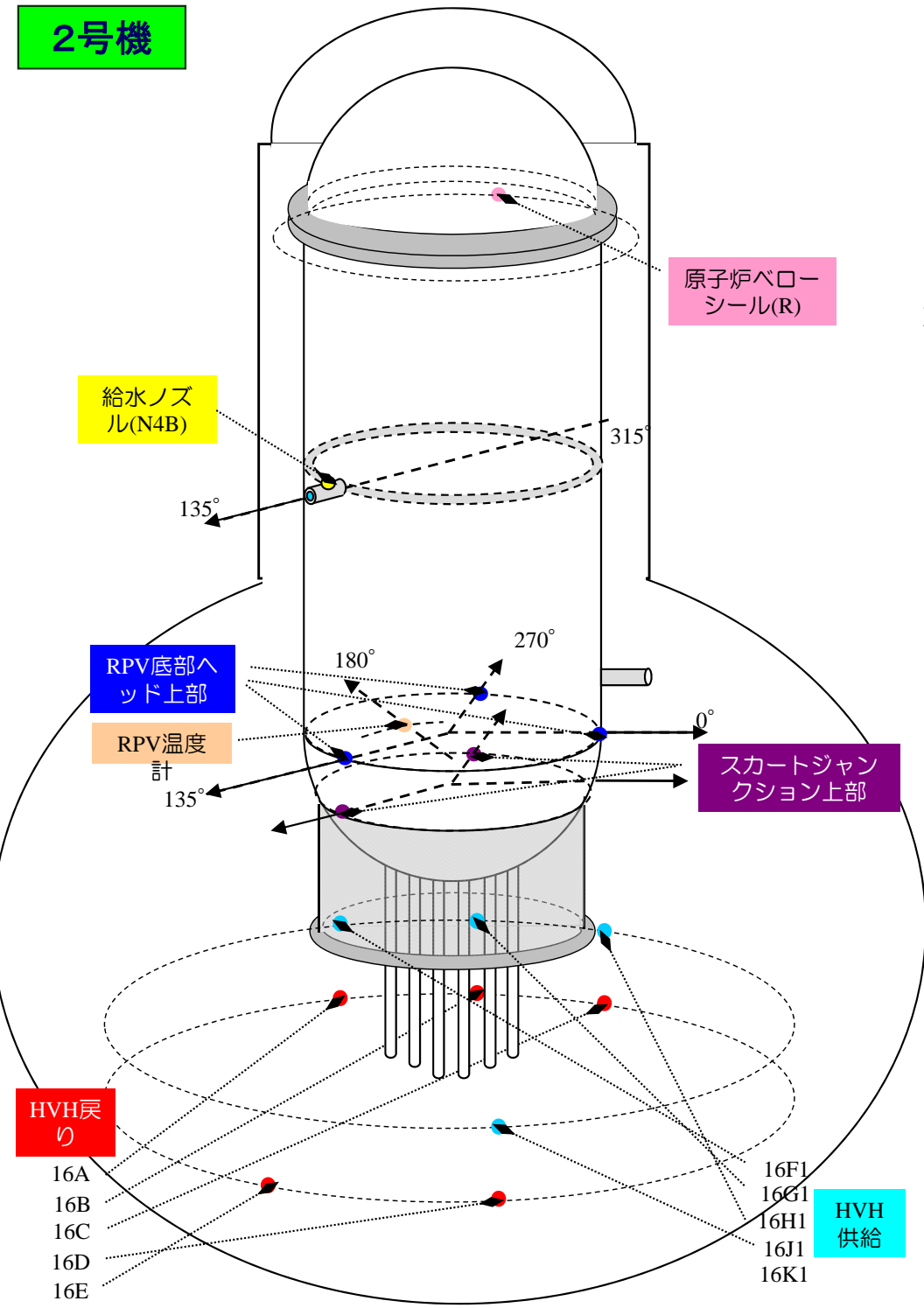
1号機 原子炉压力容器まわり温度(8/26~11/26)



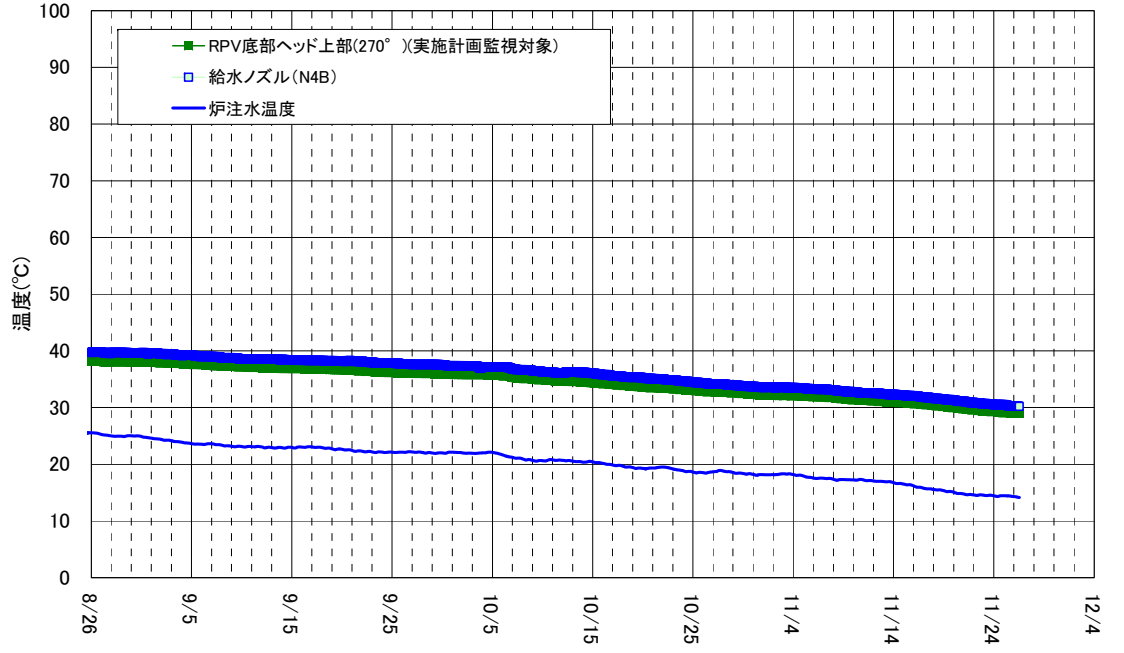
1号機 D/W雰囲気温度(8/26~11/26)



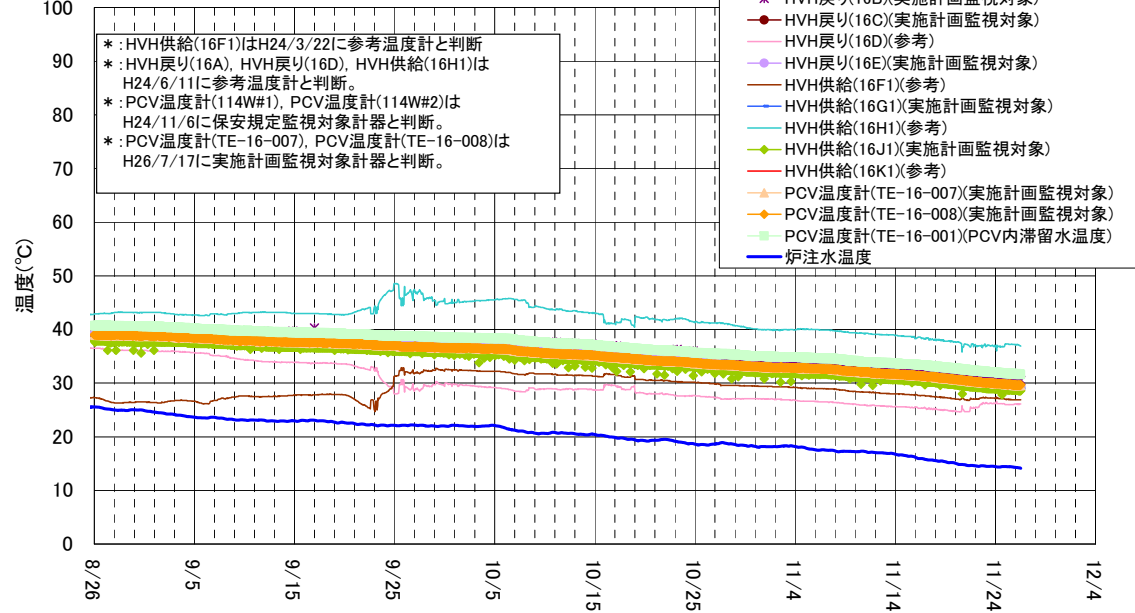
2号機



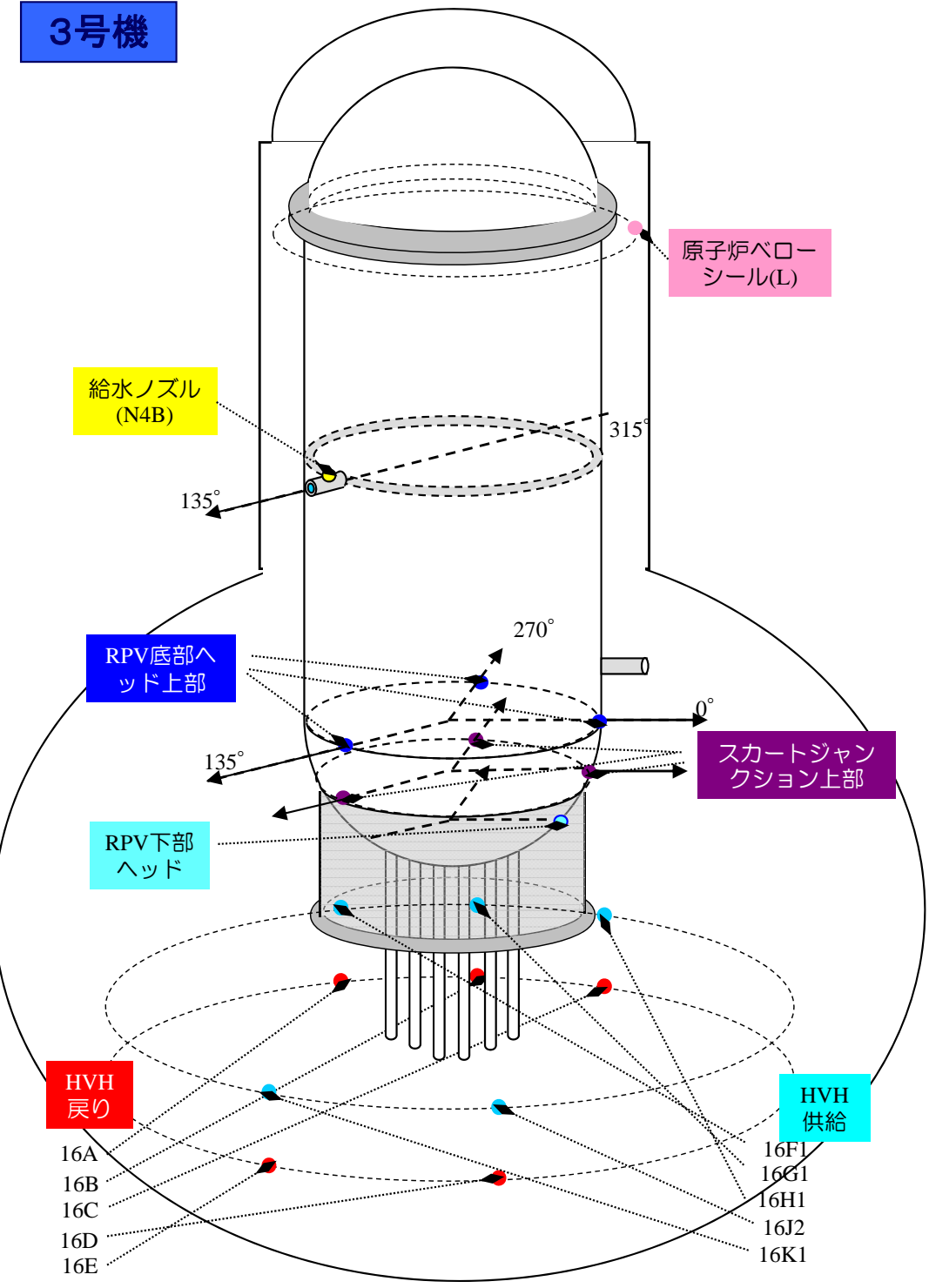
2号機 原子炉圧力容器まわり温度(8/26~11/26)



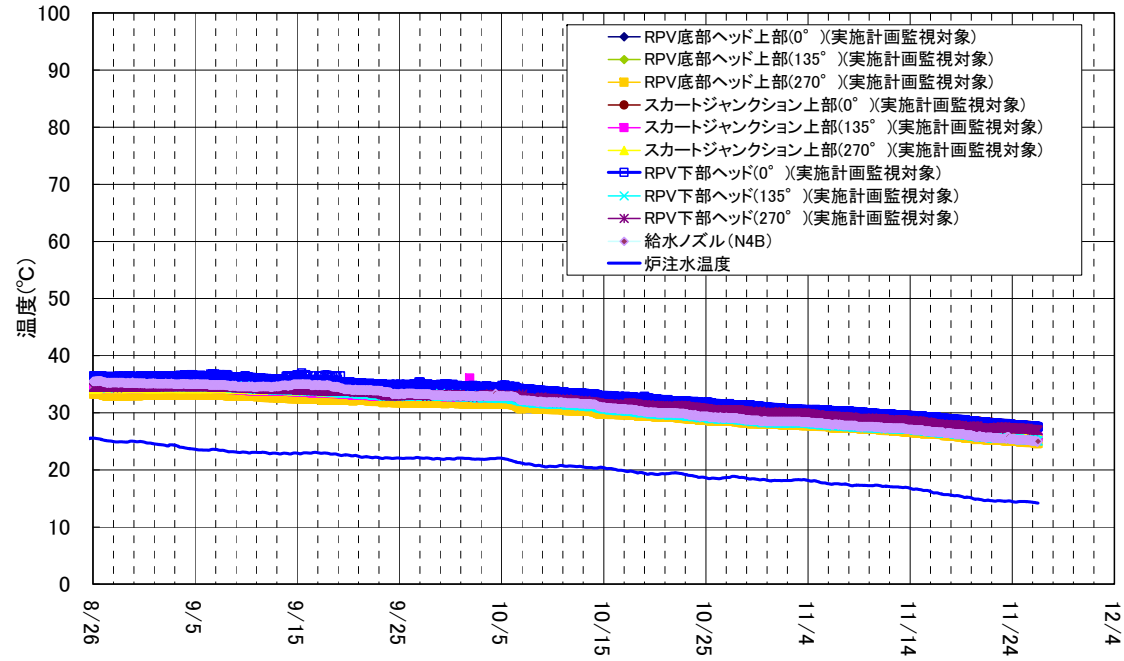
2号機 D/W雰囲気温度(8/26~11/26)



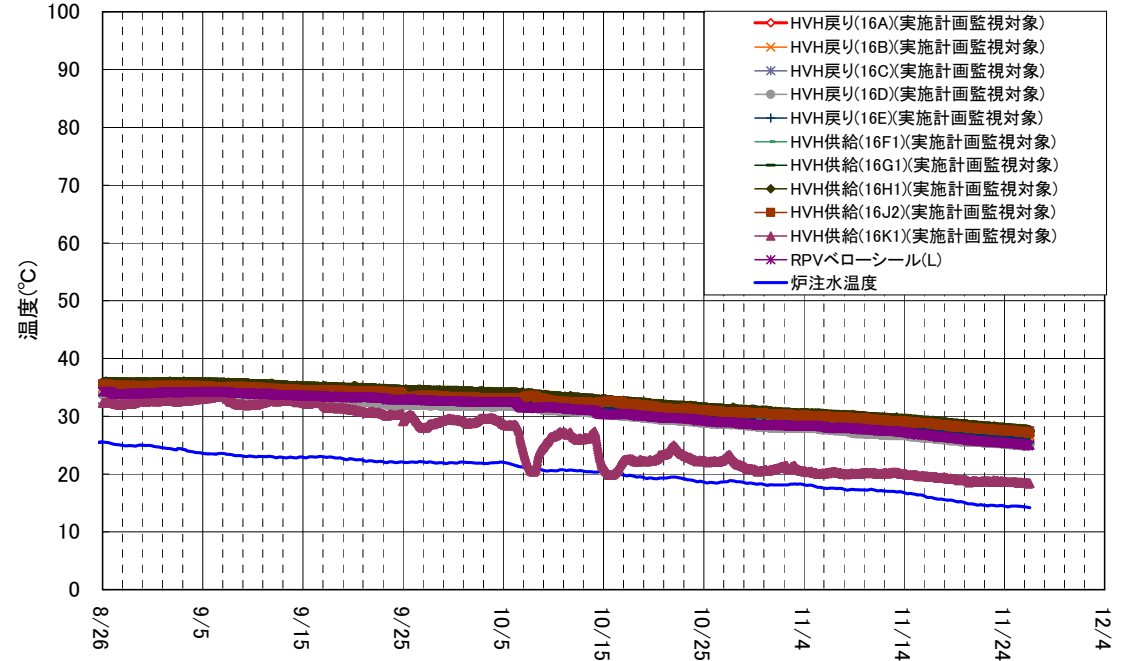
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(8/26~11/26)



3号機 D/W雰囲気温度(8/26~11/26)



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

滞留水の貯蔵状況(11月25日時点)

東京電力株式会社
平成26年11月27日

① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量

- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中

③ 廃棄物発生量

- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

④ 処理水タンク貯蔵量

- ・淡水化装置による処理により、淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
- ・蒸発濃縮装置は全台停止中

⑤ 5、6号機滞留水貯蔵量

① 建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,900m ³	OP.2,809
2号機	約19,100m ³	OP.2,687
3号機	約21,200m ³	OP.2,752
4号機	約16,000m ³	OP.2,706
合計	約70,200m ³	

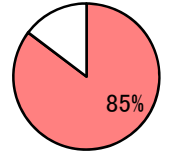
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約15,240m ³	OP.4,306
高温焼却炉建屋	約2,020m ³	OP.1,093
合計	約17,260m ³	

(合計):+860[m³/4週] (合計):-160[m³/週]

(合計):-2700[m³/4週] (合計):-800[m³/週]

③ 廃棄物発生量

廃スラッジ



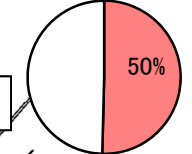
保管量:597/700[m³]*3

②

廃液供給タンク	貯蔵量	貯蔵容量
SPT(B)	693m ³	1,200m ³
	659m ³	3,100m ³

(合計):-241[m³/4週] (合計):-698[m³/週]

使用済ベッセル

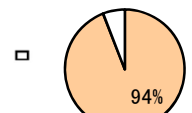
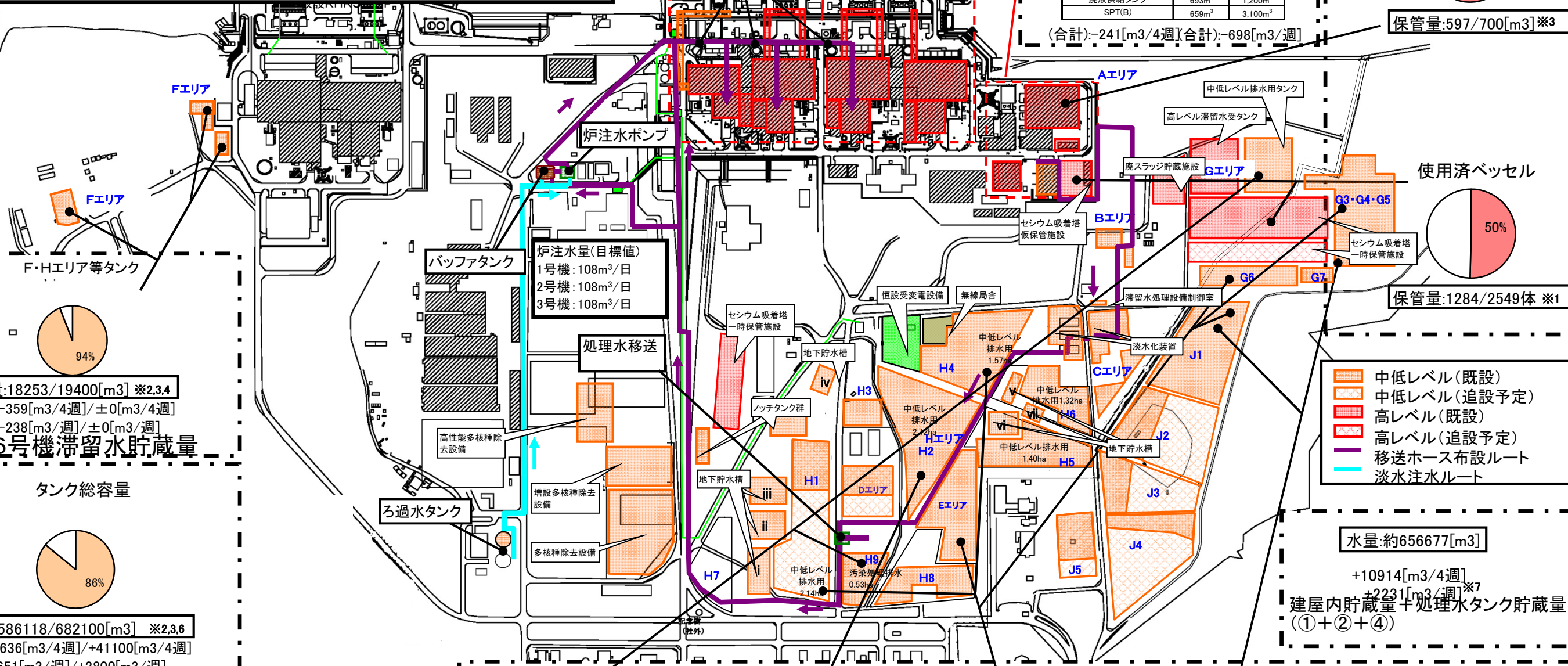


保管量:1284/2549体 *1

- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 移送ホース布設ルート
- 淡水注水ルート

水量:約656677[m³]

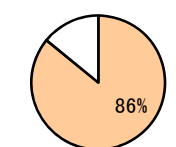
+10914[m³/4週]
+2231[m³/週]*7
建屋内貯蔵量+処理水タンク貯蔵量
(①+②+④)



水量:18253/19400[m³]*2,3,4
-359[m³/4週]/±0[m³/4週]
-238[m³/週]/±0[m³/週]

⑤ 5、6号機滞留水貯蔵量

タンク総容量

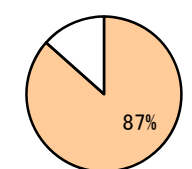


水量:586118/682100[m³]*2,3,6
+12636[m³/4週]/+41100[m³/4週]
+3651[m³/週]/+2800[m³/週]

貯蔵量合計(④+⑤)

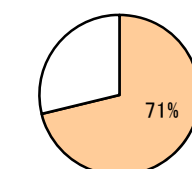
- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
- ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
- ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てして表記)
- ※4 Hエリアのタンク(約3,000m³分)を5,6号機滞留水に使用
- ※5 多核種除去設備(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
- ※6 地下貯水槽を含まない。ろ過水タンクの貯蔵容量(4,600m³)を含む
- ※7 ウェルポイント(約550m³/週)、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋(約210m³/週)の移送量約760m³/週を含む
- ※8 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

④-a 淡水受タンク



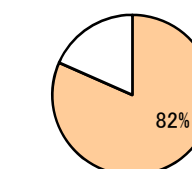
水量:23806/27500[m³]*2,3
-502[m³/4週]/±0[m³/4週]
-94[m³/週]/±0[m³/週]

④-b 濃縮廃液貯槽



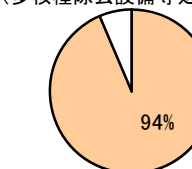
水量:9040/12700[m³]*2,3
-169[m³/4週]/+3200[m³/4週]
-111[m³/週]/±0[m³/週]

④-c 濃縮塩水受タンク



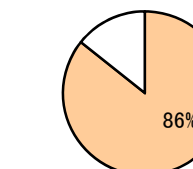
水量:324438/397600[m³]*2,3,6
-3862[m³/週]/±0[m³/週]

④-d 処理水貯槽



水量:210581/224900[m³]*2,3,5,8
+36400[m³/4週]/+36800[m³/4週]
+7956[m³/週]/+2800[m³/週]

処理水タンク総容量

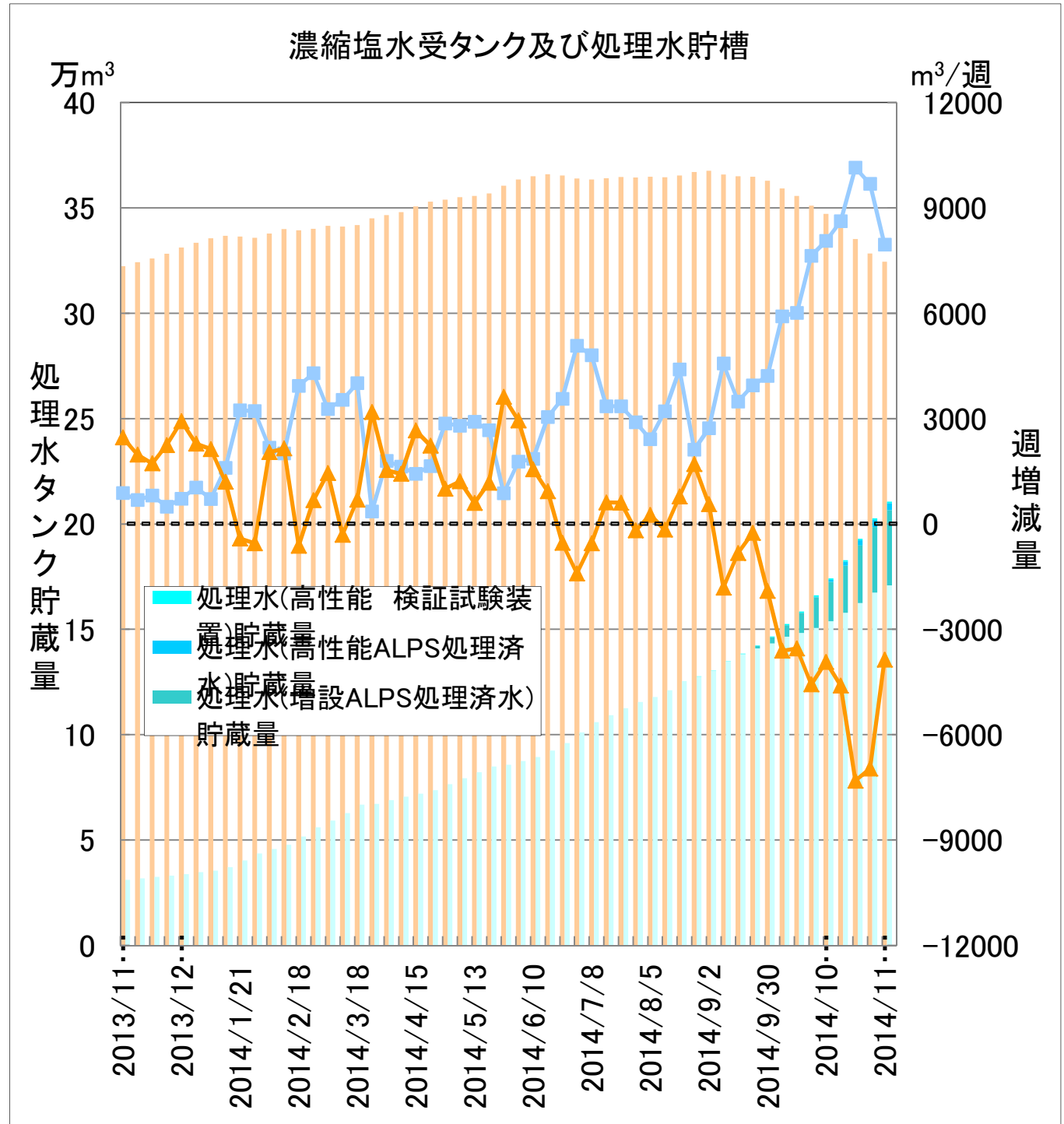
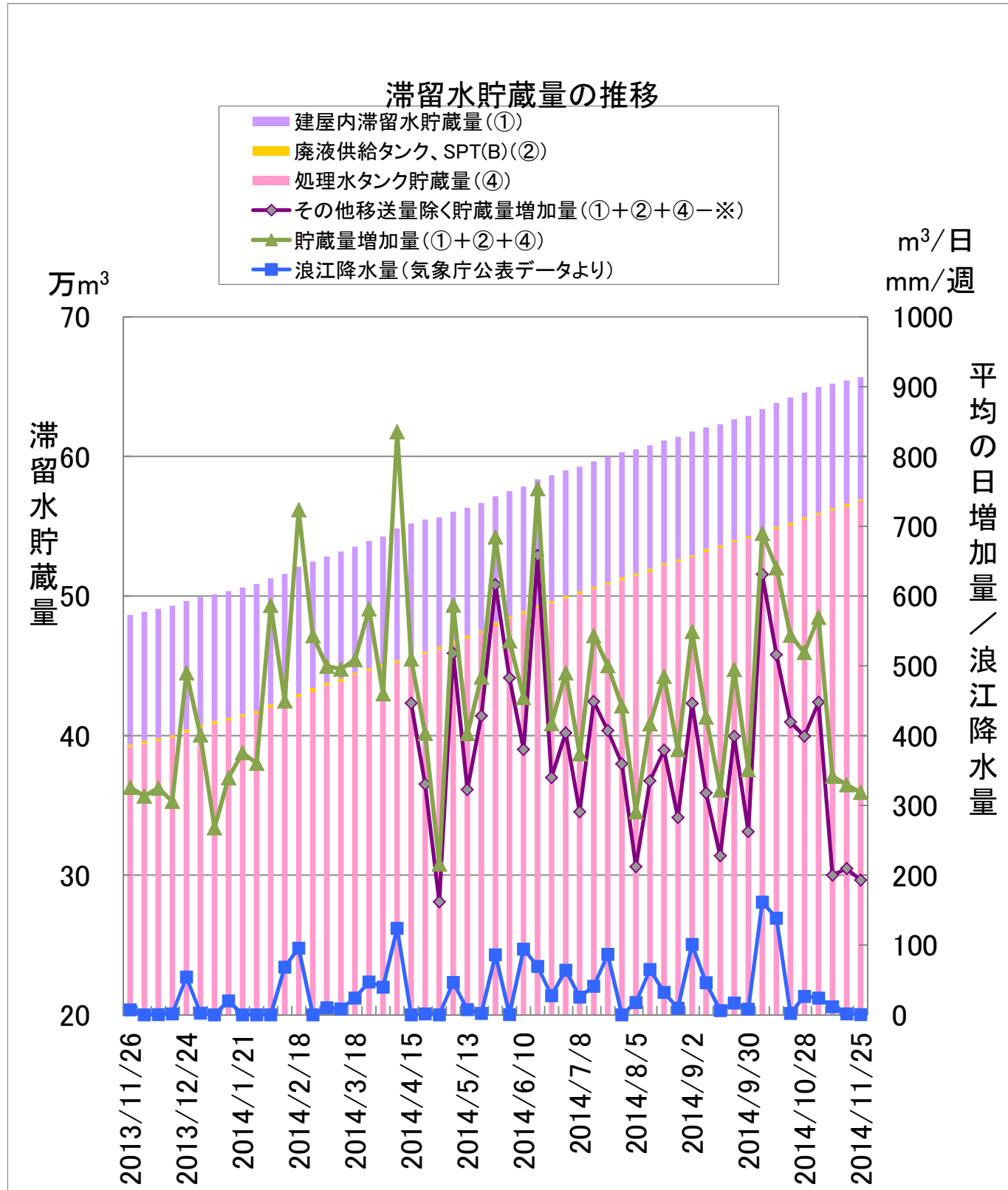


水量:567865/662700[m³]*2,3,5,6
+12995[m³/4週]/+41100[m³/4週]
+3889[m³/週]/+2800[m³/週]

④ 処理水タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量
・ノッチタンク群 約1800(±0[m³/週])/約4900[m³]
・地下貯水槽vii 約100(-100[m³/週])/約4000[m³]

滞留水の貯蔵状況の推移



処理水貯蔵量	累積貯蔵量	期間貯蔵量		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日]	[m3/日]
既設多核種除去設備	170,820	3,375	482	750以上
増設多核種除去設備	35,703	4,581	654	750以上
高性能多核種除去設備	3,378	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	680	0	0	50

- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)
- ②: 廃液供給タンク、SPT(B)
- ④: 処理水タンク貯蔵量([④-a淡水受タンク]+[④-b濃縮廃液貯槽]+[④-c濃縮塩水受タンク]+[④-d処理水貯槽])
- ※: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの氷投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

各エリア別タンク一覧

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
D	33	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	3基について、用途を濃縮廃液用とした
E	49	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	40	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
G4南	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	濃縮塩水用17基の内、2基は使用時期未定
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	
H2北	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H2南	11	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	高線量箇所が確認されたため、2基使用停止 11-2=9
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基撤去済み 23-2=21
H5	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	65	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設)	
	1	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	34	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
J2	12	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設)	
J3	6	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	7	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	22	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
ALPS	4	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高ALPS	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増ALPS	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
水処理	1	8000	No.1ろ過水タンク	濃縮塩水	側板の一部に変形が認められたため、耐震 評価を行いRO濃縮水貯水量を4600m ³ とした。
合計	866				(平成26年11月25日 現在) ※下線部は前回報告からの変更点

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
H4北	3	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
合計	52				(平成26年11月25日 現在) ※下線部は前回報告からの変更点